

## 第41回住まいのリフォームコンクール「応募用紙」の作成方法

〈コンバージョン部門【非住宅→住宅タイプ】〉

### I. 応募用紙作成の基本事項

1. 審査は、応募フォームに入力いただいた応募情報および「応募用紙」により行います。応募作品に関する主要な説明や写真・図面等は、必ず「応募用紙」に記載してください。
2. 「応募用紙」は所定の様式を使用してください。レイアウト枠は変更しないでください。
3. 写真及び図面等は、「応募用紙」の所定の位置（必ず枠の中）に貼ってください。
4. 文字には黒インクを用いてください。

### II. 「応募用紙」作成の個別事項

A～Kまでの注意事項を参照して、作成してください。

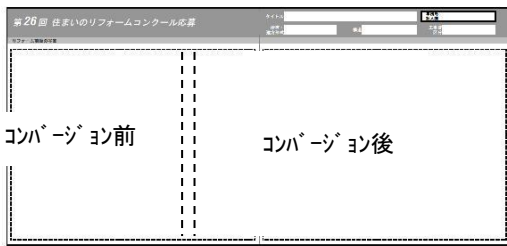
The diagram shows a sample application form with callouts A through K. A red box at the top right contains the text 'エントリー受付番号を記入' (Enter entry number) with a red arrow pointing to field D. Callout A points to the title field, B to the ownership/building type field, C to the structure field, D to the building floor field, E to the main content area, F to the conversion work/owner/tenant information section, G to the residential building information section, H to the data table, I to the right side of the main content area, J to the conversion department selection checkboxes, K to the construction type checkboxes, and I to the right side of the main content area.

- |                  |   |
|------------------|---|
| <b>A</b> タイトル    | 作品の内容をわかりやすく表現したものとすること。                  |
| <b>B</b> 所有・建方形式 | 応募フォームで選択した「所有・建方形式」を <u>文字</u> で記入する。    |
| <b>C</b> 構造      | 応募フォームで選択した「構造」を <u>文字</u> で記入する。         |
| <b>D</b> 建物階数    | 「建物階数」を記入する。<br>共同建の場合は、該当住戸の階とその階高も記入する。 |

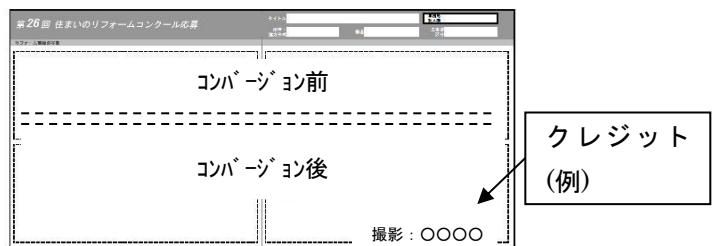
## E コンバージョン前後の写真

コンバージョン前後の写真を以下の例を参考にして貼付する。

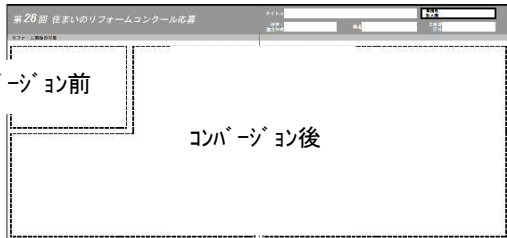
例1



例2



例3



- ・コンバージョン前後の状況が比較でき、工事内容や建物の全体像等がはっきり分かるものとする。
- ・作品公開の際に、写真撮影者名の明記（クレジット）が必要な場合は、必ず「応募用紙」の右下に「撮影：〇〇〇〇」と記入する（記入のない場合はクレジットは不要とみなします）。

## F コンバージョンの動機／設計・施工の工夫点／施主・居住者の満足度など

審査基準を念頭に置いて、コンバージョンの動機や設計・施工上の工夫点、施主・居住者の満足度等を、箇条書きにするなど簡潔に、400字程度にまとめる。文字のサイズは、1.0pt以上とする。印刷の際に、文字の欠落が無いように注意する。

## G 住宅として確保した性能／特に配慮した事項

1. 応募フォームで選択した「確保した性能」を、重要視した順に記入する。

なお、「性能向上の特性」とは、以下の内容を示す。

耐震性能	地震に対する構造安全性を確保するリフォーム（例：柱や筋違の補強、屋根の軽量化）
耐久性能	腐朽・錆・汚れ等、建物の劣化対策のリフォーム（例：傷んだ箇所や設備機器の交換）
バリアフリー性能	高齢者・障害者等も安全に生活できるようなリフォーム （例：段差の解消、手摺の設置）
温熱性能	暑さ・寒さ対策で省エネルギー性や快適性を確保するリフォーム （例：断熱の強化、窓サッシの気密化、断熱ガラスへの交換）
防音・遮音性能	外部からの騒音、上階床からの騒音、室内で発生する音などの対策のリフォーム （例：窓やドアの防音化、床の足音対策、音楽・オーディオ室の防音化）
防犯性能	泥棒の対策のリフォーム（例：防犯錠や防犯ガラスへの交換、窓格子の設置）
室内空気環境	シックハウス対策や熱交換換気採用などのリフォーム （例：有害物質を出さない仕上げ材への交換）

（上記以外の特性は、応募フォームの「その他」に記入したものを直接記入する。）

なお、新型コロナウイルス感染症に関連した対策による性能向上内容等については、「その他」に記入する。

（例：3密対策、テレワーク、非接触、換気、等）

2. 「特に配慮した事項」について、以下に留意して性能改善点などを具体的・定量的に記入する。

・性能を確保したリフォームの場合

「確保した性能」に関するリフォームについては、具体的な工事の内容（材料・工法・構成）、目標とする性能値、実現された性能値の確認法などを、分かりやすく記入する。「その他」に記入した内容についても同様に記入する。

・賃貸住宅リフォームの場合

家賃価格の増収による資産価値の向上、借入者の満足度向上など、賃貸住宅として改善された内容や、事業性などについて記入する。

・オフィスビル等のリフォームの場合

オフィスビル等のリフォームで、設備等について技術的な工夫をした等の場合は、その具体的な内容を記入する。

## H データ

1. 「該当工事床面積」には当該コンクールに応募する箇所の面積を、「総工事床面積」にはリフォーム工事全体の床面積を記入する。
2. 「該当部分工事費」には当該コンクールに応募する箇所の工事費を、「総工事費」にはリフォーム工事全体の工事費を記入する。
3. 「居住者構成」欄には、年齢別の居住者人数と、ペットがいれば種類と数を記入する。

## I コンバージョン前後の平面図

1. 図面は、図や文字がはっきりと読めるものとする。
2. 縮尺および方位は必ず記入する。
3. リフォームした部分は、「コンバージョン後」の該当部分に淡黄色で着色する。
4. コンバージョン前後の写真の撮影位置・方向を記入し、写真と対応できるようにする。なお、撮影方向がはっきりわかるように矢印の形は正三角形にしないこと。

## J コンバージョン前の用途

応募フォームで選択したものと同一コンバージョン前の用途にチェックする。

## K I w値 又は I s値

当該リフォーム工事の際に耐震診断や耐震改修を行っている場合は、応募フォームに記入したリフォーム前とリフォーム後の「I w値」又は「I s値」をそれぞれ記入する。